

持続可能なセーフティ ネット～人と地域を支える サンドボックスハウス～

－「個」でなく「総合力」で黒字化・持続－

(個人) 澤田 祐樹

本日お伝えしたいこと



1.背景とゴール

地域課題を「持続可能性」をキーワードに

2.地域経済の課題分析

対象地域を「広島県」とし、「所得増加」を分析テーマに

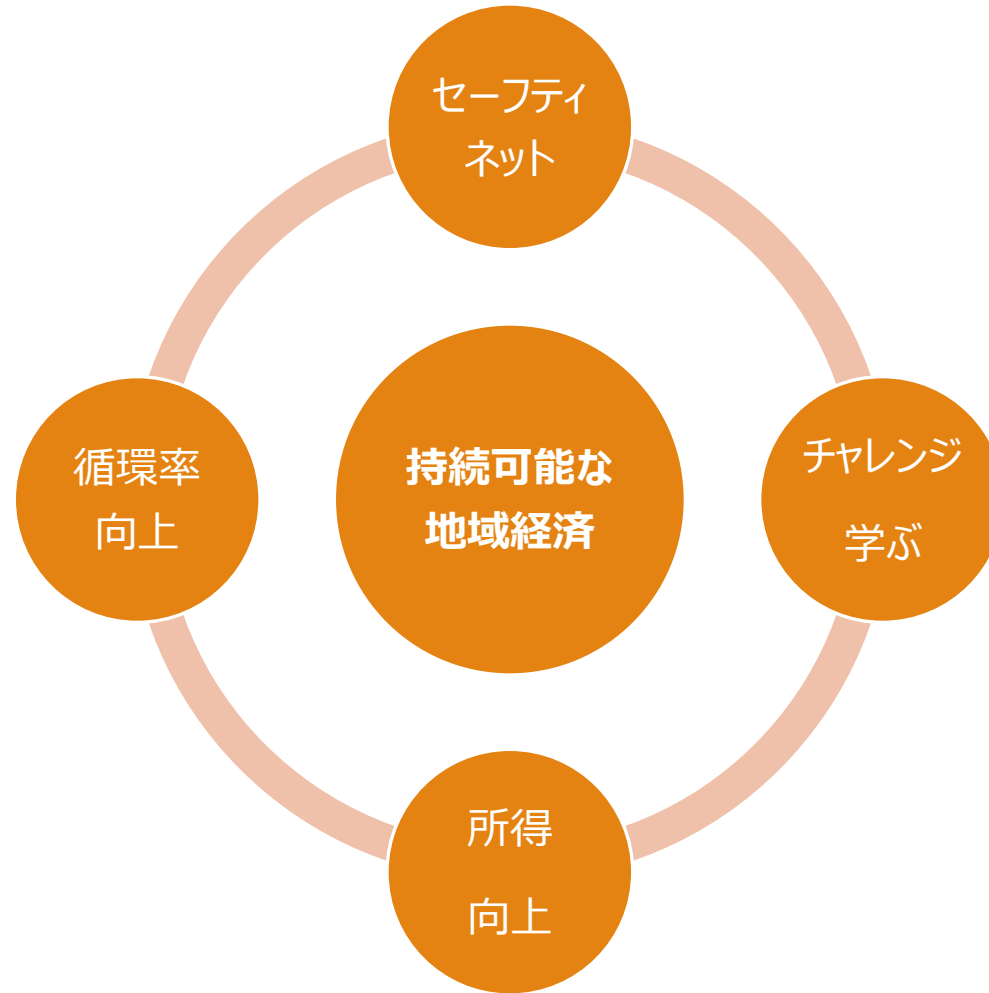
3.サービス提案

失敗を許容し、チャレンジを後押しする持続可能なサービスを提案

4.実現に向けたロードマップ°

総論

持続可能なセーフティネットを構築＝チャレンジ環境(“サンドボックス”)を強固とし、所得向上・経済循環率の向上。



“サンドボックス”という言葉

“前向きに働ける/生きれる”1つのアプローチとして有効では? 「持続可能性」という観点は長期的に重要?

きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ



韓国ドラマ「スタートアップ」より～
ベンチャーキャピタル CEO
「失敗しても大丈夫、チャレンジを
サポートする会社があればいいな」



作ってはならし、みんなが集まって、創作を繰り返す、「砂場(サ
ンドボックス)」のように、何度でも試行錯誤できる場

「持続可能性」を意識

きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ

ニュース「海外産の牛肉高騰」

これまで利益優先で
海外依存度を高

国産(農家/生産)の減少

ニュース「首都圏集中」

地方人口・経済の衰退

初スポットバイト

新たなセーフティネットの形
本業以外で稼いだ経験、安心感

クラウドファンディング！地域住民 をつなぐレンタルスペース

地域住民で協力/応援すれば地
元を活性化できるという実感

「持続可能性」を意識

キーワードは「循環率」「所得増加」。

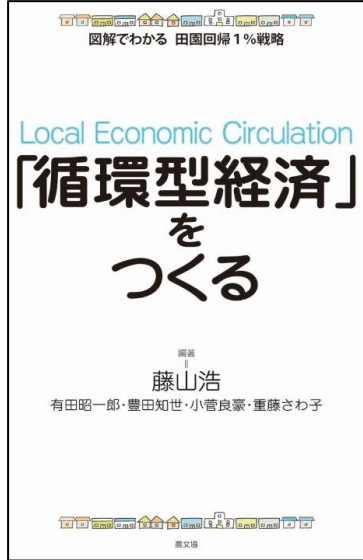
きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ



1. 循環率が違えば投資額が少なくとも多い場合と同程度の効果となる
2. 毎年人口比1%前後の定住増加で人口安定化が見えてくる
3. 定住増加を支える所得増加も、毎年1%前後が目標となる
4. 担当する自治体だけ循環率が上がっても(他の自治体の収益を吸収しては) 長期的、日本全体的にみてもあまり効果的とはいえない

【出展】出版社:農山漁村文化協会 (2018/3/26) 藤山浩 (著, 編集) 「循環型経済」をつくる (図解でわかる田園回帰1%戦略)

循環率の比較

所得が減少しているケースでは循環率も減少。

きっかけ/
仮説

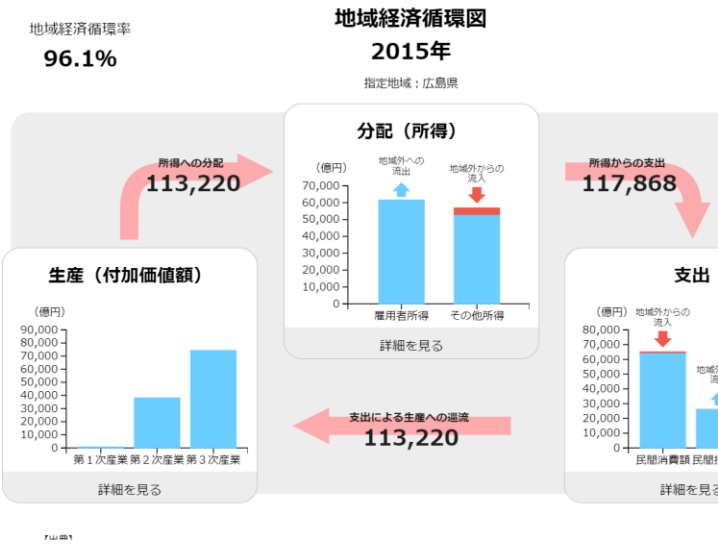
現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ

	対象県	2015	2020
人口増減率(%) ※5年前比	広島	-0.59	▲1.56
	福岡	0.58	0.66
	静岡	-0.72	▲1.81
(分配)所得増減率 (%) ※5年前比	広島	0.08	▲0.004
	福岡	0.03	▲0.01
	静岡	0.05	▲0.02
循環率(支出/分配) の増減(%) ※5年前比	広島	4.7 (2010年:91.4%) (2015年:96.1%)	▲2.3 (2020年:93.8%)
	福岡	0.2	▲2
	静岡	0.7	▲1.9



【出展】
人口増減率：
RESAS(地域経済分析システム)：総務省「国勢調査」
「住民基本台帳人口移動報告年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、厚生労働省「人口動態調査」

循環率、(分配)所得増減率：
RESAS(地域経済分析システム)：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」
地域経済循環分析

※以降、スライドにおける「循環率」も本データを利用

所得増加に向けて – 要因分析

起業活動が行いやすいほど、生産性が向上。また、失業率が低いほど起業しやすく、かつ賃金が増回傾向。

きっかけ/
仮説

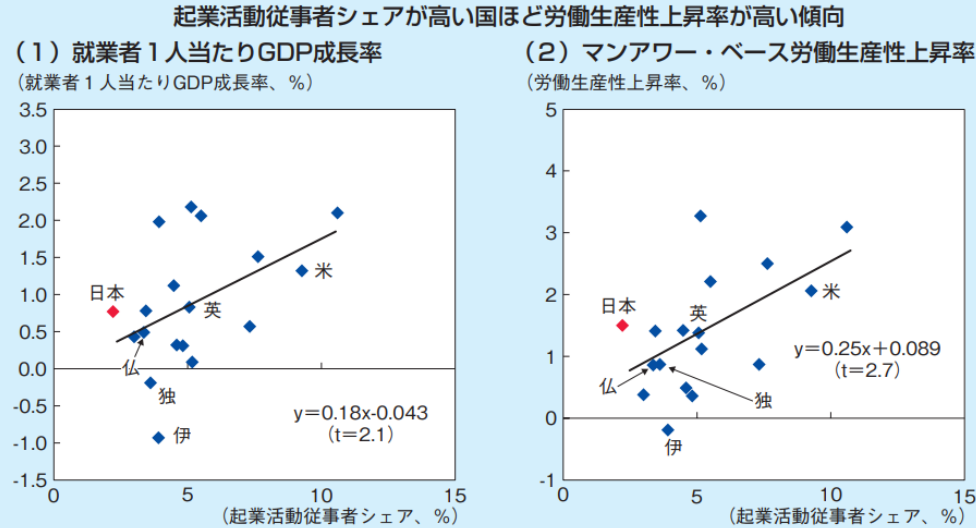
現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ

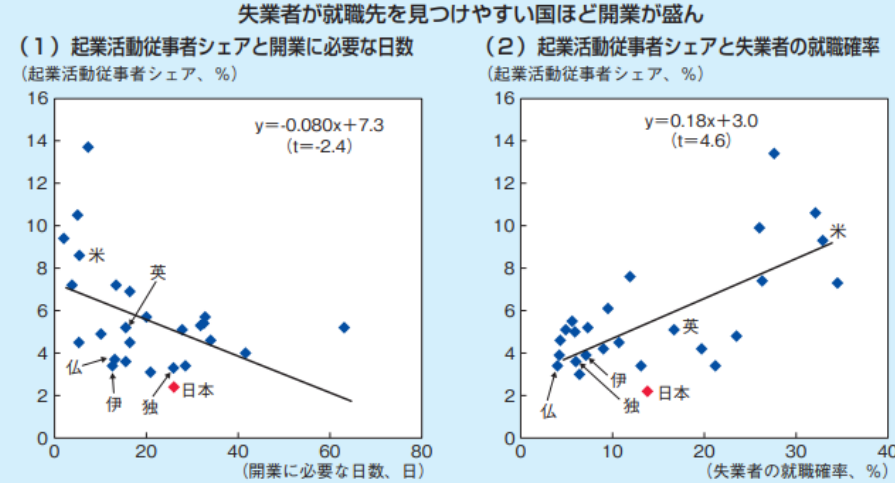
第3-1-2図 起業活動従事者シェアと労働生産性上昇率



【出展】

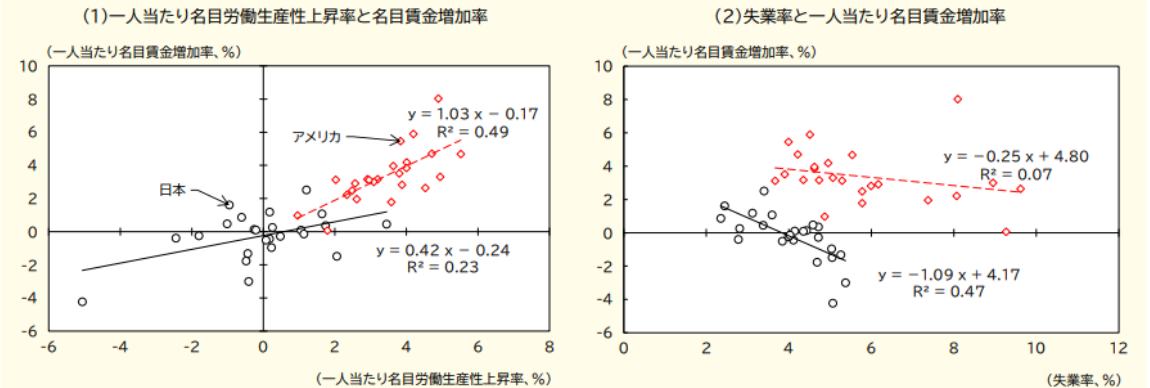
内閣府ホームページ第3章第3章 人的資本とイノベーション より抜粋
https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je11/pdf/all_04.pdf

第3-1-3図 起業活動従事者割合の決定要因：制度的側面



第2-(1)-5図 労働生産性・失業率と賃金の関係

○ 日本の賃金は労働生産性への感応度は低く、失業率への感応度は高い。



資料出所 OECD, Statをもとに厚生労働省政策統計官付政策統括室にて作成

【出展】厚生労働省

「賃金の現状と課題」より抜粋

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/23/dl/23-1-2-1.pdf>

所得増加についてー広島県の起業支援

広島サンドボックスは2018年～スタートし、多くのPJ支援/実現した実績がある。

きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ

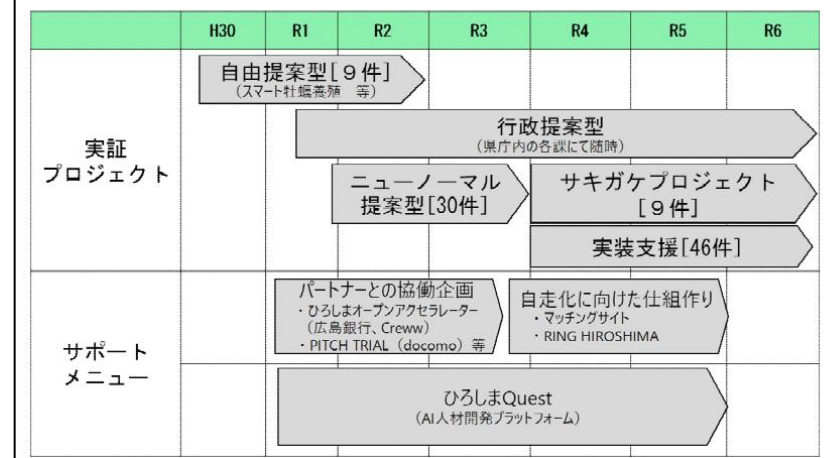
2 「ひろしまサンドボックス」の概要

(1) 経緯

人口減少と高齢化が進み、労働生産性の低下が避けられない中、デジタル技術を活用し、新たな付加価値の創出と生産性向上を目指すソリューション開発に取り組む実証実験の場として、広島県が3年で10億円規模の予算を投じ、平成30年5月にスタートした。

コンセプトは、文字どおり「砂場」を意味し、作ってはならし、みんなが集まって、失敗を繰り返しながら試行錯誤することを意味する。

「ひろしまサンドボックス」の取組の全体像（平成30年～令和6年）



【出展】広島県 商工労働局イノベーション推進チーム「ひろしまサンドボックス」のこれまでの成果について より抜粋
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/585935.pdf>

所得増加についてー起業支援

金銭による起業支援は必ずしも「賃金上昇」「失業率」の低下には寄与しない。

- きっかけ/
仮説
- 現状分析
- ゴール
- 打ち手/
政策
- ロード
マップ

件名	一人あたり賃金上昇率(%) (2022年-2023年比)	完全離職率 ①2023年 ②2022年	一人あたり起業支援額 (人口/右記載の支援額)
広島	▲0.4%	①2.12 ②2.07	82.5円/人
岡山	2.4%	①2.20 ②2.10	19.4円/人
福岡	▲0.1%	①2.82 ②2.70	15.8円/人
静岡	4.0%	①2.20 ②2.15	68.9円/人
鳥取	▲2.7%	①1.80 ②1.97	-
島根	3.1%	①1.35 ②1.57	-

順位	都道府県名	支援金額(百万円)
1	東京都	23,200
2	愛知県	12,802
3	大阪府	1,579
4	山梨県	1,382
5	沖縄県	641
6	神奈川県	293
7	京都府	268
8	長崎県	253
9	静岡県	245
10	群馬県	242
11	鹿児島県	239
12	福島県	227
13	広島県	226
14	埼玉県	193
15	山形県	184
16	長野県	179
17	滋賀県	178
18	高知県	161
19	岐阜県	151
20	佐賀県	144
21	大分県	128
22	富山県	101
23	徳島県	92
24	青森県	85
25	福岡県	81

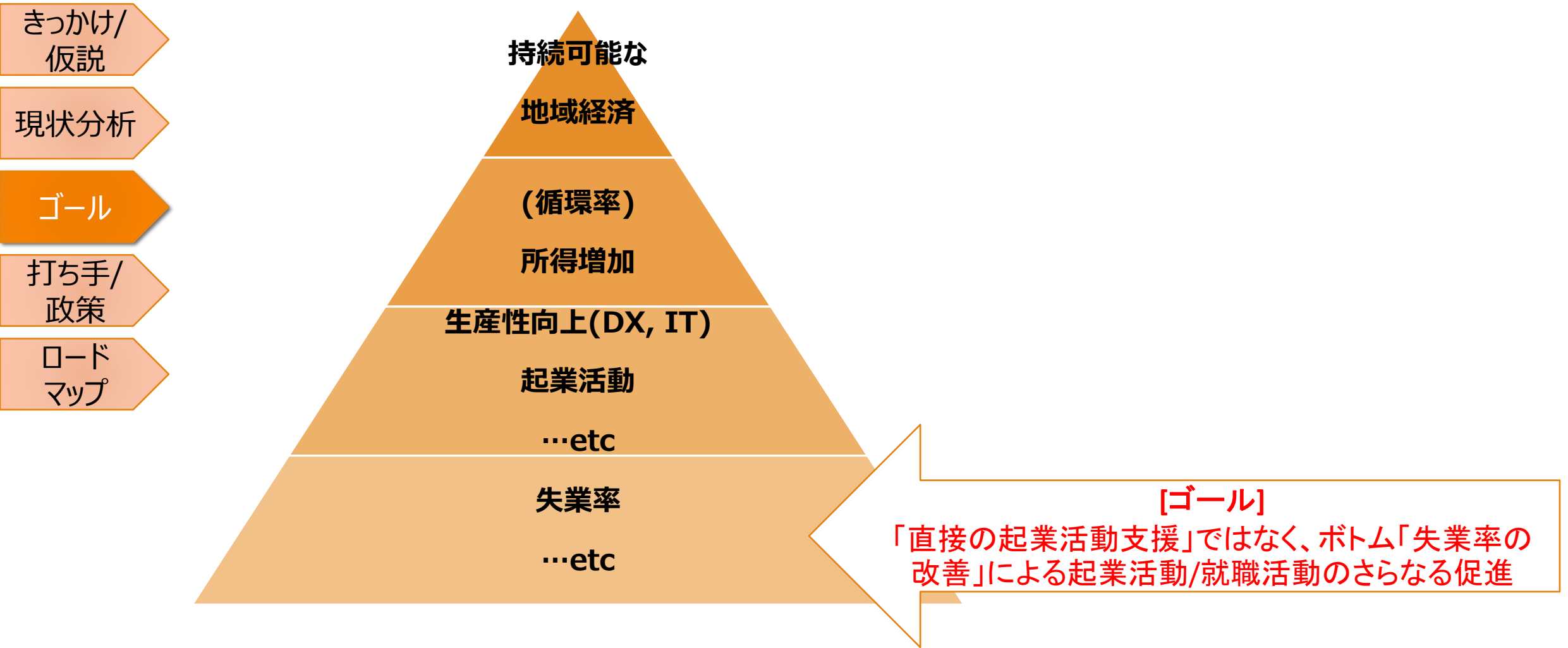
36	山口県	51
37	秋田県	39
38	岡山県	36
39	兵庫県	29
40	愛媛県	25
41	岩手県	20
42	和歌山県	9
	茨城県	—
	栃木県	—
	鳥取県	—
	島根県	—
	熊本県	—

【出展】東洋経済新聞
2024年度の一般会計当初予算に含まれるスタートアップ支援関連の事業予算を、都道府県のホームページで公表されている資料から独自に取得し、その金額合計でランキングを作成。ランキングはあくまでも独自集計。各自治体の公開基準が統一されていないため、すべての情報を取得できていない場合があるほか、スタートアップの支援金額として総額に組み入れてよいものか、線引きが難しいものもあった。
<https://toyokeizai.net/articles/-/749703?page=3>

【出展】完全失業率(4半期合計の平均) :
e-Stat政府統計の総合窓口 労働力調査 / 都道府県別結果 (モデル推計値) 四半期

東洋経済新聞 スタートアップ支援が手厚い都道府県ランキング

課題分析まとめとゴール設定



失業率の改善-サービスコンセプト

将来の社会・地域・個人の発展を願い、挑戦/学び/充電期間が必要な個人/法人を低コストで支援する家 “サンドボックスハウス”

きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ



[先進技術挑戦と利用]
ドローン×配送、農業

[住む]
宿泊、交流

[提供]
カフェ、特産

[学びとアウトプット]
リスティング(ex. webマーケティング, AI)

[自給自足]
半農半X
×6次産業化

サービス概要

エコシステム型セーフティネットの実現

きっかけ/ 仮説	No	ビジネスモデル構成	内容	補足
現状分析	1	[who] 顧客セグメント	<ul style="list-style-type: none">生活コスト(食住)を抑えたい個人技術習得したい個人/法人	社会人大学、リスキリング 特定技能外国人
ゴール	2	[What] 価値提案	[個人・法人] - 安心して挑戦、生活できる環境 - 交流 [自治体] 循環率・所得向上への寄与 - 人口流入(移住候補) - 高度人材の育成 - 滞在期間中の税収入 - 流入所得増加	[主な民宿閉鎖理由] <ul style="list-style-type: none">需要の減少固定費の維持価格競争トレンド対応
打ち手/ 政策	3	[How]	<ul style="list-style-type: none">半農半X (技能習得)低コスト賃貸(民泊,宿泊サービス) ※期間制限あり実証実験 (ex. AI/ロボット)住民活動により進化しつづける古民家カフェ/農作物、特産販売、PR事業(6次産業化)	
ロード マップ	4	[Why] 収益の流れ コスト構造	[in] 販売売上、宿泊費、補助金、水道光熱費(観光客以外) [out] スタッフ人件費、余剰利益を補助金返済、各種維持費	[ポイント] <ul style="list-style-type: none">各事業の「トータル」で黒字化持続性 > 利益(展望) 海外市場

展望

特定技能受け入れ元で交流がある海外拠点を設置、販売し、(分配)所得を増やす。

きっかけ/
仮説

現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ



[広島県をPRする道の駅@海外]
プラットフォームとして、近隣県のPRを代行も可

人/もの・サービス交流

本エコシステム
を他県や海外へ

[様々なマッピングビジネス]
英会話事業、広告代理事業、、、



参考事例-起業支援含めた複数事業による地域貢献

(他要因もある上で)類似地域の鳥取県よりも賃金が上昇。循環率の向上率も高い。

きっかけ/
仮説

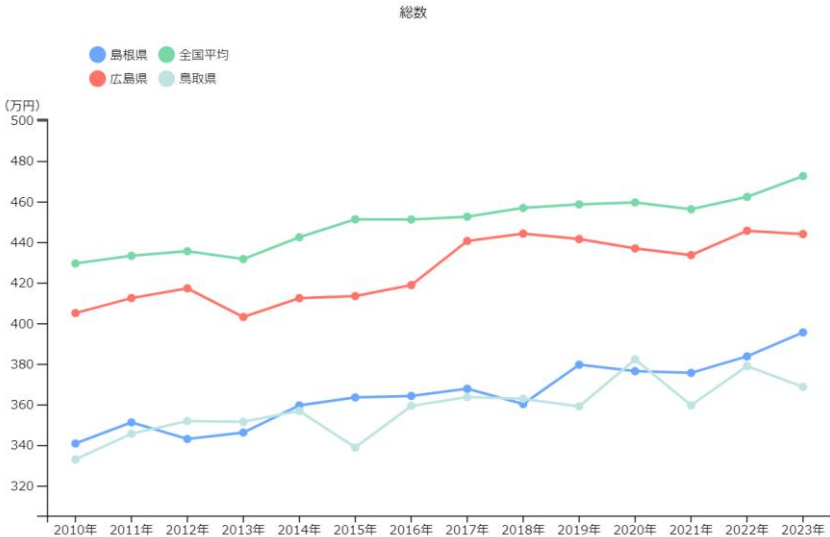
現状分析

ゴール

打ち手/
政策

ロード
マップ

自治体	島根県邑南町
会社	2013年設立合同会社出羽 https://chikusen.club/report/izuwa.html
事業概要	「集落農業」 「空き家活用」 「起業支援」 など ▼事業例① 集落農業 個々の農家がそれぞれで農作業を行うのではなく、皆で集まって広域化して、効率化や各種補助獲得を実現 ▼事業例② 空き家活用 ▼事業例③ 起業支援 起業プログラムの作成支援、空き家物件の紹介、起業者の生活支援、広報協力などを実施
設立	複数農家が出資 事業を実施する過程で、株主・資本金を増やしている (ただし、民間の不動産屋の事業を圧迫しないよう民間を優先し、LLCは赤字にならなければいいという考え方で運営されている)
成果	2018年には「てらだのパン」「ニジイロ雑貨店」、さらに交流拠点「すまいる」がオープン。 2021年4月にオープンした2軒目のパン屋「LULU」は、オープンして間もなく、お昼にはパンが売り切れてしまうほどの人気店に。 ■補足：2010年～2018年間の循環率の推移 2010:76.9% 2013:83.1% 2015:81.6% 2018: 83.6% 島根 2010:91.4% 2013:93.8% 2015:96.1% 2018: 93.3% 広島 2010:79.9% 2013:81.5% 2015:80.6% 2018: 81.5% 鳥取



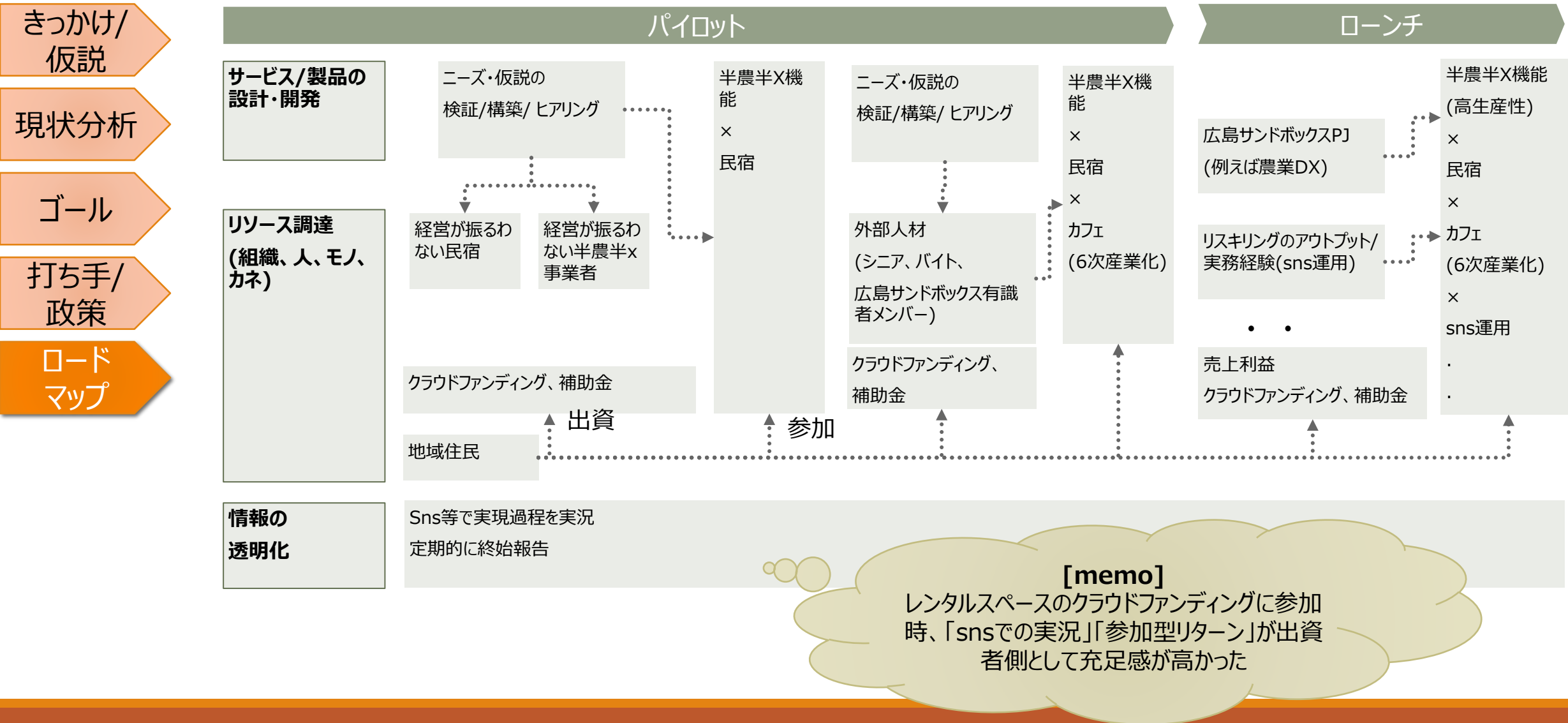
【出展】
環境省
12の地区が切磋琢磨しながら住民自らが地域戦略を策定- 島根県
https://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/B_industry/frontrunner/reports/r1engine04_ohnan.pdf

【出典】
一人あたり賃金：
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

循環率、(分配)所得増減率：
RESAS(地域経済分析システム)：
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」地域経済循環分析

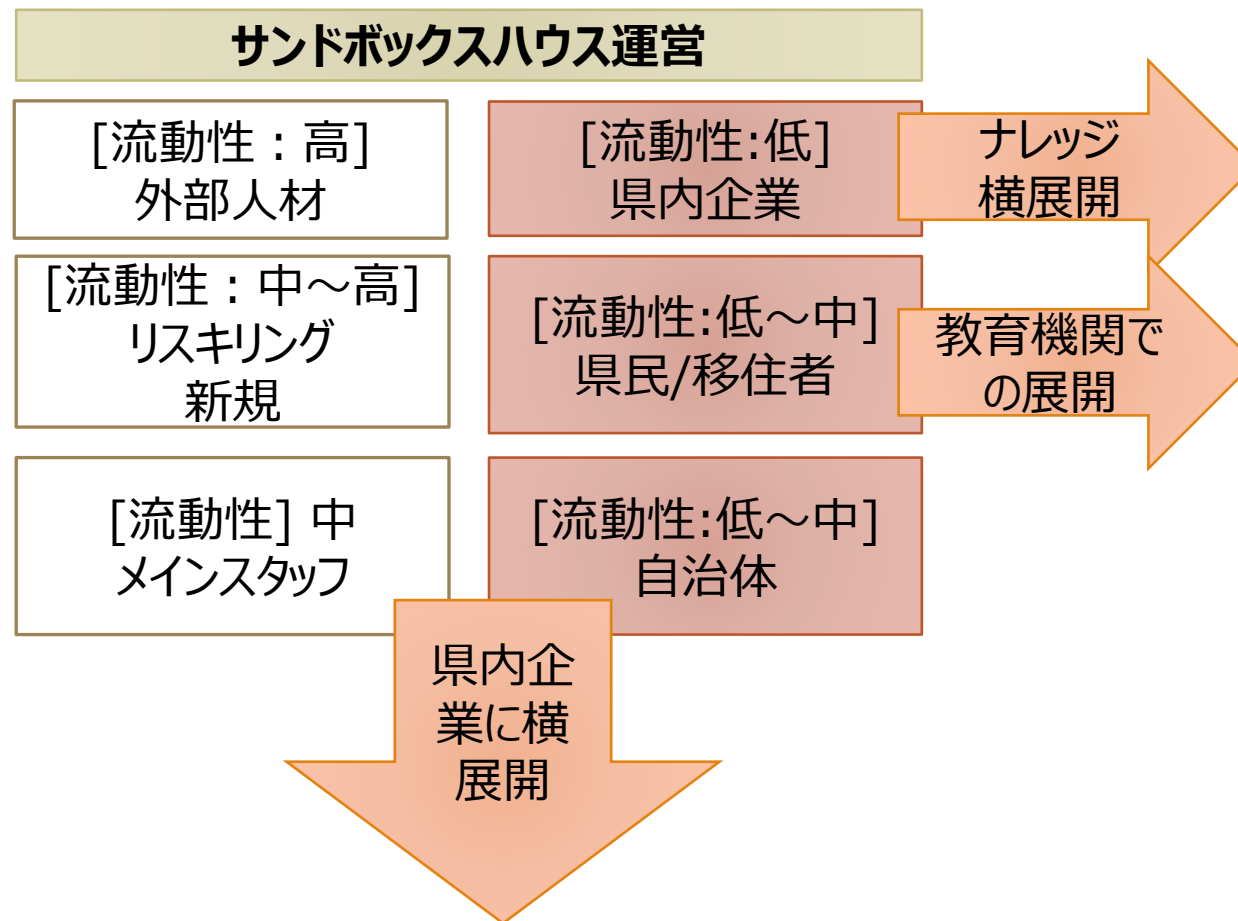
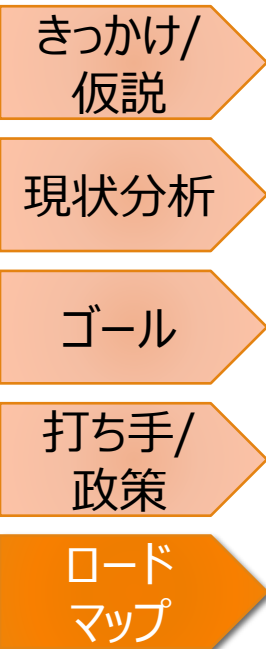
ロードマップ

人と地域と一緒に進化していく“安心できる”家。**地域の人に参加でき、透明化(実況)されていることが重要。**



体制

持続可能性 = 知識/資産が俗人化しない & 横展開が可能とするために、**半民間・半自治体の体制**



総論

持続可能なセーフティネットを構築=チャレンジ環境(“サンドボックス”)を強固とし、所得向上・経済循環率の向上。

